

会報

いとす



2020年号
薫風号



東日本少年少女錬成大会

新型コロナウイルス感染拡大の予防について

会員の皆様方にはご健勝のことと存じます。

日頃は何かご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

ご承知のごとく、新型コロナウイルスの感染者が世界に200万人超におよび医療や補償が行き届かない国では、政治の恩恵から漏れる怒りや、感染の危険にさらされた人々は生活苦に震えています。

日本政府は新型コロナウイルス対応の「緊急事態宣言」が全国規模に拡大され、感染防止に向けての取り組みをしました。われわれは最大限努力し三密の徹底をしていますが、人々の移動によりクラスターが各地で発生し、感染拡大の傾向が未だ続いているのが現状であります。

最前線で命を支える医療従事者の方々には、過重労働や感染不安などで限界を越え、過労死の懸念が高まっています。

商業活動も自粛要請により、経営が苦しくなって収入減や失職する人達がおられます。救済処置として国民に一人10万円を給付することが決定されましたが、当分収まりそうもない感染拡大が早く終息するように願っています。

大型連休で旅行計画を取り止める、また楽しみしにしていた東京オリンピックの開催もコロナ影響で一年間延期になりました。

われわれ糸洲会の第52回全国大会(9/12~13 横浜開催)も中止となりましたし、各種行事も中止や延期で事業が進まなく停滞しています。

2021年糸洲流世界大会も、一年間延期するように開催国デンマークに要請しています。皆様方もテレワークや学校の休みが続き、公共施設等の使用禁止により稽古不足でストレスが溜まっているとは思いますが、市中に出歩かないで新型コロナウイルス感染には十分に気をつけて行動されるようお願いいたします。

坂上節明 宗家・会長

不要、不急の外出は ひかえましょう

糸洲流空手道沿革

糸洲流空手道は「首里手」の大家である松村宗棍師(1798~1890)に源を発し、近世の拳聖と世人に仰がれている糸洲安恒師(1830~1915)を流祖としている。

糸洲安恒師は、これまで「唐手術」と言う護身術であった「手」を体育的に改良再編し、学校体育に取り入れ人格形成に主眼を置いて昇華させた。

また、多くの型を創作し現在最も普及している平安(ピンアン)の型は、糸洲安恒師が作られたものである。

糸洲安恒師の「型」を最も正しく学ばれた摩文仁賢和師(1889~1952)は「糸洲派二世」を継承する。摩文仁師は「那覇手」の東恩納寛量師にも師事し、後に両師の頭文字をとり「糸東流」を創始する。

摩文仁師は「糸洲派」を後世に伝承させるため1952年1月、高弟の坂上隆祥(1915~1993)に「糸洲派三世」を継承させる。

坂上隆祥師は、1940年3月「糸東流空手道坂上道場」を兵庫県川西市の自宅に開設する。1954年8月に上京し、東京都葛飾区に「日本玄武館空手道場」を開設する。

1955年6月、横浜市鶴見区に道場を移転し「全日本空手道糸洲会総本部道場」を開設。これを契機に会名を「全日本空手道糸洲会」とし、これより「糸洲会」と呼称する。

1969年4月、正式に流名を「糸洲流」に、会名を「日本空手道糸洲会」と命名。ロゴマークも制定する。

1976年5月、坂上隆祥著「空手道大鑑・平安編」を会員向けに出版。続いて1978年10月「空手道型大鑑」を出版する。この本が型教材のベストセラーとして愛好者に幅広く好評を得て、現在5版を重ね発売中である。その他「ヌンチャク・釵」など琉球古武道関係の書籍を出版する。

1979年4月、糸洲流空手道の連綿たる歴史と技法が評価され日本古武道協会に空手道界初の加入流派として承認される。

1994年4月、門下生一同の推戴を受け、坂上隆祥の嫡子節明が「糸洲流四世」を継承する。四世坂上節明は「型で始まり、型で終わる」と言われる糸洲安恒、摩文仁賢和、坂上隆祥の三世代より伝承された「糸洲流型」を忠実に守り、当流の保存振興のため国内外の後進の指導育成に努めている。

2007年1月より、坂上節明監修指導のもとDVD「糸洲流空手道型大鑑」を2年半の歳月をかけて2009年8月に「全5巻」(49型収録・英語字幕付)が完成。糸洲流空手道の「型」規範として大きな遺産となるものと確信している。

また、空手道の世界的発展に伴い、当流も国際交流の充実を目標に2002年8月、糸洲流加盟16カ所国にて「糸洲流空手道国際連盟(IKIF)」を結成する。

2005年7月アメリカ・ロサンゼルス、2009年7月マレーシア・クアラルンプール、2013年8月日本・大阪、2017年8月中国上海において「糸洲流世界空手道選手権大会」を開催する。2021年デンマークでの開催の準備を進めている。現在20カ国余りが活動中であり、さらに世界に広がりを見せている。

2018年5月 文責/坂上節明



糸洲安恒師



摩文仁賢和師



坂上隆祥師



坂上節明宗家

会報いとし 2020年 薫風号 CONTENTS

坂上節明宗家・会長	
新型コロナウイルス感染拡大の予防について	3
第36回東日本少年少女空手道錬成大会	4
令和2年芦屋空手道協会大会	5
三世代空手道 拳志館 十島博徳	6
父《福山隆章》の想いを継いで	7
会員の声	8
今、注目の人「古怒田桜子選手」	9
トピック	10
コラム「道草」	14
追悼 宮川清則先生	15
昇段審査合格者	15

発行者
日本空手道糸洲会総本部
〒230-0048
神奈川県横浜市鶴見区
本町通 1-16-5
TEL 045-521-6318
FAX 045-503-2040
郵便振替 00950-5-37159
加入者 糸洲会機関誌
発行日 20120年6月1日

第36回糸洲会東日本少年少女空手道錬成大会

令和2年2月23日(日) 横浜市・鶴見大学体育館

徹底した予防対策して開催



小学4-6年、型団体戦



小学1年生男子組手

令和2年2月23日(日)、横浜市の鶴見大学体育館において第36回糸洲会東日本少年少女

がたい大会になりました。何故かと言えば新型コロナウイルスが全国各地に拡がりはじめて大会の開催そのものが危ぶまれていたからです。

実際に出場道の先生方や選手の保護者からも感染を危惧して大会を中止にした方が多いのではないかと問い合わせがいくつもありました。

大会委員会としても坂上会長を交えて何度か検討した結果、開催することいたしました。

理由としては、その時点ではまだ学校も職場もその他の商業施設等もすべて通常に活動していたこと、また何よりも大きな要因としてこの大会を目標にして一生懸命頑張ってきた選手達の熱い思いを大切にしたいからです。

当日は感染予防対策として出入り口にはアルコール除菌液や除菌シートを置き、役員はじめ係員、観戦者全員にマスクの着用を義務付け、また審判員も主審以外は副審全員がマスク着用という異例の形の中で競技が行われました。

こうした状況にも拘わらず選手たち全員が午前中の型競技、午後からの組手競技とも一杯の気合で熱戦を繰り広げてくれました。それぞれの種目の入賞者たちが嬉しそうにメダルや賞状を受け取るのを見た時に本当に開催してよかったと思いました。

坂上会長が常々言っていることですが、大会は主催者のためにあるのではなく選手のためにあるのだから、我々はいつもそのことを考え努力していかなければならないということを思い出しました。これからも選手たちが最高のパフォーマンスができる大会を目指して頑張っていきます。

(大会実行委員長 楠原清誌)



力強く選手宣誓をする長瀬3兄弟(横須賀支部)



優勝者に温かい言葉をかける坂上会長

女空手道錬成大会が開催されました。36回を迎えた今大会は私たちにとっても忘れ

令和2年芦屋空手道協会大会

令和2年3月1日(日) 芦屋市立体育館青少年センター

いつもと違う緊張感のもと

令和2年3月1日(日)、芦屋市立体育館青少年センターにおいて、令和2年芦屋空手道協会空手道大会が開催されました。

本大会には組手競技、型競技合わせて、芦屋空手道協会所属の中学生以下の道場生のうち、延べ73名が参加しました。

本大会は、芦屋空手道協会所属の少年部を対象に、試合経験が少ない選手も、豊富な選手も、さらに上を目指して研鑽していただくことを目的として、3年前から始まりました。

大会当日は多くのご父兄が見守る中、型競技・組手競技共に、選手たちの、いつもの稽古とは違う緊張と迫力を感じることができ、名勝負といえる試合も数多く見られました。その他に、本大会では、これから公認審判員資格取得を目指す指導者も、先輩方のアドバイスを受けながら審判の練習をしたり、多くのご父兄方にもご協力をいただき、記述の練習をしていただくなど、その場にいる全員が新しいことにチャレンジする場となっていた、大変意義のある大会であったと思います。

(芦屋空手道協会 岸本延幸)



組手試合



試合開始



組手試合



試合開始

<p>【型個人戦】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎無級〜7級(幼小、中学) 1位/長町梨沙 2位/宮脇遥 3位/二星聡佑 大滝宗徹 ◎6級〜3級(小、中学) 1位/岩本百夏 2位/山口世絆 3位/宮脇蒼大 ◎2級〜初段(小、中学) 1位/田淵瑛士 2位/川脇運央 3位/永幡駿英 出口凌成 <p>【組手個人戦】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎幼年〜小学2年(男女) 1位/河原駿 2位/大滝宗徹 3位/二星聡佑 大滝宗徹 ◎小学3年〜4年(男女) 1位/宮脇蒼大 2位/山口世絆 3位/池田綺七 杉中舜英 ◎小学5年〜6年男子 1位/田淵瑛士 2位/田淵瑛士 3位/出口凌成 ◎中学生男子 1位/山村真市 	<p>2位/鈴木颯介(保土ヶ谷) 3位/吉川臥空(練心塾)</p> <p>古松依築(日吉空手)</p> <p>◎小学生2年男子 1位/長瀬波靖人(横須賀) 2位/関口健心(保土ヶ谷) 3位/八木翔也(保土ヶ谷) 福岡星空(横須賀)</p> <p>◎小学生3年男子 1位/岩瀬海(保土ヶ谷) 2位/松本裕生(子安支部) 3位/新家翔太(子安支部) 大森悠生(保土ヶ谷) 5位/井上泰希(足柄館) 浅沼実(保土ヶ谷) 角掛瞬(保土ヶ谷) 後藤慧伍(保土ヶ谷)</p> <p>◎小学生4年男子 1位/奈良之穂(横須賀) 2位/野一色陸(子安支部) 3位/三前孝太郎(日吉空手) 田中颯真(子安支部) 5位/望月梁之介(つくば) 中村亮佑(保土ヶ谷) 小佐野義礼(日吉空手) 高橋一颯(旭空)</p> <p>小学生5年男子 1位/神保孝太郎(日吉空手) 2位/久保光人(保土ヶ谷) 3位/高野快晴(つくば) 浅沼光(保土ヶ谷) 5位/平野正樹(利根支部) 大澤陸(足柄館) 毎原瑞基(保土ヶ谷) 早月飛空(総本部)</p> <p>◎小学生6年男子 1位/井上翔斗(足柄館) 2位/本橋蘭(練心塾) 3位/長瀬大牙人(横須賀) 山口太慈(足柄館)</p> <p>◎小学生1〜2年女子 1位/小泉くるみ(保土ヶ谷) 2位/吉澤紗弥(子安支部) 3位/中村玲音(福島支部) 鈴木ひかり(足柄館)</p> <p>◎小学生3〜4年女子 1位/大貫美桜(保土ヶ谷) 2位/平山愛華(保土ヶ谷) 3位/大宮凜音(横須賀) 城田紗季(保土ヶ谷) 5位/西山碧葉(横須賀) 栗瀬乃々華(日吉空手) 堤美羽奈(横須賀) 阿部由奈(横須賀)</p> <p>◎小学生5〜6年女子 1位/野崎奏(保土ヶ谷) 2位/野村瑠憂(横須賀) 3位/服部夏音(昌武館) 宗愛来(横須賀) 5位/磯妃葵(八千代) 鈴木きさらり(足柄館) 土釜満春(保土ヶ谷) 大矢真央(練心塾)</p> <p>◎中学生男子 1位/塩入蒼(利根支部) 2位/渡邊翔生(練心塾) 3位/鈴木嵐(保土ヶ谷) 秦大和(利根支部)</p> <p>◎中学生女子 1位/木村涼(足柄館) 2位/熊田杏珠(足柄館) 3位/後藤さくら(鶴空) 山田真優(鶴空)</p> <p>【組手団体戦】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎小学生 1位/横須賀A(長瀬波靖人・奈良之穂・長瀬大牙人) 2位/保土ヶ谷A(矢ヶ部敢太郎・岩瀬海・野崎奏) 3位/練心塾(村川史恵・駒形潤) 本橋蘭(保土ヶ谷) 小泉くるみ・笠井創太・浅沼光
--	---

守礼堂 東京支店
 〒164-0001 東京都中野区中野 2-23-4 グリーンフォレスト1F
 TEL (03)-5342-3051
 FAX (03)-5342-3052
 E-mail shureido@viola.ocn.ne.jp
 ※法人様はこちら
 TEL 0120-957-941
 FAX 0120-957-942
 JR 中野駅

守礼堂 本社
 〒900-0012 沖縄県那覇市泊 1-1-6
 TEL (098)-861-5621 FAX (098)-861-5525
 フリーダイヤル TEL 0120-612341 FAX 0120-612342
 E-mail shureido@orange.ocn.ne.jp

関西 守礼堂
 〒538-0044 大阪府大阪市東淀川区東3丁目21-34
 TEL (06)-6953-8864 FAX (06)-6963-8863

守礼堂 九州
 〒890-0048 鹿児島県鹿児島市西田 2-1-18
 TEL FAX (099)-491-8320
 E-mail shureido@sur.tbj.jp

URL www.karatedo.co.jp/shureido

極まる形、極まる技
 スポンを立体的な新しい形の縫製にした為、足の動きがより自由になり、要約自在の動きに対応できる。
 NW-3、無縫

いつも快適な道衣
 1. 優しく、柔らかなコットンの肌触り
 2. 汗を素早く吸い、同時に蒸散させる。
 3. 空気を十分に採りこみ、早く乾く。
 4. 軽いうえに、縮みが少ない。
 NW-1〜3、無縫

空手衣の美しさを追求
 上着中の汗取り用布を特殊縫製する刺にあり、汗汗向の空手衣のまとわりつきを解消し、空手衣の形をきれいに保つ。
 NW-3、無縫

450gの軽さで技の高速度
 (軽地) オリジナル生地4号半(175cm)のスポンで、450gの軽さを誇る。
 無縫

三世代空手道

十島博徳師範 (83歳)

十島清徳師範 (52歳)

十島悠歌さん (21歳)



左から十島清徳師範、十島悠歌さん、十島博徳師範

三世代に渡って空手道に励まれておられるご家族を紹介していきます。今回は、平成12年から平成24年まで、二代目拳志館館長として糸洲会の発展にご尽力された十島博徳師範に、寄稿していただきました。

拳志館 十島博徳 (二代目館長)

山下正男師範との出会い

私と山下正男師範(故人)との出会いは昭和32年で、陸上自衛隊伊丹駐屯地の空手道部でした。

山下師範は、自衛官としても空手道でも大先輩でした。山下師範は退官後、昭和36年に呉市に拳志館空手道場を開設されました。私は、昭和37年に海田市駐屯地に転属となり、



カナダ支部のみなさんと十島清徳師範(左端)、悠歌さん(左から5人目)

山下師範が海田市駐屯地にも指導に来られるようになりました。私の空手道人生は、山下師範との出会いにより大きな影響を受け、現在に至っています。

三世代に渡る空手道

長男(清徳)は、小4から空手を初め、中学、高校、大学、一般と続けております。ま



オーストラリア支部のみなさんと悠歌さん(前列左から2人目)

た、孫3人も空手を習っていました。現在が一番下の子(悠歌)だけが続けてくれています。

三世代に渡る空手道であり、子弟関係でもありますが、空手を通じた人との出会いを大切にしながら、日々稽古に励んでおります。

海外支部道場生との交流

2013年に日本で開催された糸洲流国際大会で、カナダから来ていた選手との出会いがありました。

現在も友人として交流を続けており、2018年には、長男(清徳)と孫(悠歌)の親子でカナダに旅行で行き、一緒に練習をしております。

また、2018年の師範会技術研修会では、オーストラリアから来ていた指導者と長男(清徳)との出会いがあり、昨年、孫(悠歌)がオーストラリアで1か月間ホームステイをさせていただきました。大変親切にしてください、今年も行きたいと言っております。

人との出会いを大切に

これまでの空手道人生を振り返ってみると、空手を通じた多くの方々との素晴らしい出会いが、私たちの大きな財産となっています。

糸洲会の皆さんも空手を通じた人との出会いを大切にしながら研鑽を積み重ね、人生をより豊かなものにしてほしいと思います。

父《福山隆章》の想いを継いで家族で精進

横須賀支部

長瀬裕季子・長瀬純一・長瀬大冴人・長瀬波靖人・長瀬大和



故福山隆章・前横須賀支部長

2016年に、横須賀支部長だった父が眠りました。

父は空手を通じて、3人娘にたくさんのお話を教えてくれました。

父と総本部へ稽古に行くことがとても楽しく、家でも空手の話で盛り上がりつづけていました。

試合前の道着のゼッケンやアイロンも、プロレスラーのような大きな体で丁寧に仕上げてくださいました。

娘たちが勝利できるように……父の願掛けだったようです。

そんな父が他界して、道場を私が続けたいと決意したとき、妹夫婦も快く継続を協力してくれました。

不安もたくさんありました。まだ知識も経



前支部長の教えをみんなと共有して、空手道を楽しむ



横須賀支部、令和元年稽古おさめ

験も浅く、会員の皆様に迷惑かけることもありません。

そんな時、坂上会長や、関東地区の先生方が助けてくださいました。

悩みをフォローしてくださいだったり、貴重なアドバイスを下さったり、いつも気遣って下さり、温かい言葉をかけてくださいました。

先生方のおかげで、私たち家族、横須賀支部の会員は、楽しく、強く活動が出来るようになりました。

本当に感謝いたします。

私の今後の目標は、糸洲会の先生方へ恩返しをする事、父の教えを横須賀支部の皆と共有して、空手道を楽しむ事。家族みんなでつづけていく事です。

これからも父の想いを継いで精進します。

(横須賀支部長 長瀬裕季)

新しい領域へ

空手衣の

山 雅

〒574-0046 大阪府大東市赤井1-7-4 (JR学研都市線「住道駅」徒歩3分)

TEL: 072-870-3677 FAX: 072-870-3678

<http://www.yamaga-karategi.com>

家族みんなで



拳志館阿賀道場
金行重雄・真理子
小学6年生 壮真
小学2年生 玲央奈

息子と娘の二本となるべく意気込んで拳志館阿賀道場入門してみたものの、形をうつては足がもつれて千鳥足。前蹴りを放てば肉離れで全治3週間。これには先生方も頭を抱える始末。

そつこつしているうちに月日が流れ、はや3年。気がつけば私も茶帯に、息子は念願の黒帯に、娘は黄帯に、それぞれ進みました。妻は多忙のため、残念ながら活動休止中。各大会にも出させて頂いて、各自それぞれ奮闘しております。

最後に熱心に指導して下さる先生方、お世話をしてくださる方々にはただただ、感謝の気持ちでいっぱいです。

東京五輪、聖火ランナーに選ばれて



鹿児島大崎支部
中学3年
木尾優仁

はじめて出場した大会で、形で優勝できてとってもうれしかったです。

それからいろんな大会で何度も優勝できて、勝つことがとても楽しいと思うようになりました。

全国大会で3位になってうれしかったです。

今、注目の人

全日本選手権大会に東京都代表で出場

古怒田桜子 選手 (日野支部)

昨年12月8日に開催された令和元年度全日本空手道選手権大会に、古怒田桜子(こめたさくら)選手が18歳の若さで、組手個人戦に東京都代表として出場を果たしました。



古怒田桜子選手 (日野支部)

また、前日に行われた都道府県対抗の組手団体戦でも東京都選手団の一員として参加しました。

桜子さんは兄、姉の後を追って四歳で日野支部に入会し、お母さんと共に小中学生の時から稽古に通っていた神奈川県立の光明学園相模原高等学校へ入学してからは日々、より一層空手道に打ち込み、1年生の後半からレギュラー入りし、その後、主将を務めながらインターハイをはじめ種々の大会に個人戦、団体戦共に出場し活躍してきました。

高校生最後の締めくくりに参加した全日本選手権大会の選考会で勝ち上がり、見事、出場権を獲得しました。今春からは名門・帝京大学に進学。「高校では日本一の目標を達成できなかったので、常に挑戦者の気持ちをもって大学でリベンジします」と、これからの抱負を力強く語ってくれました。

空手を習って

思うこと



体誠塾岸和田支部
小学5年生
井筒陽菜乃

私は1年生の時に空手を始めました。まず空手でまなんだこと。

ひとつ目は、空手は勝つだけじゃない。空手以外のきょうぎでも、ただただ大会で勝つだけじゃないということがわかりました。

ふたつ目は、きほんは大事だと思いました。きほんは、組手でもかたでもどちらでも活用できるので大事だと思います。

このように空手は私にいろいろなことをおしえてくれます。

これからも、ずっと空手をしたいと思います。空手、大好き。

おじいちゃんとお母さんが先生



北海道支部常明館
小学5年生
酒井結愛

私は4歳から空手を始めました。おじいちゃんとお母さんが先生なので、初めは嫌々でしたが、今は毎日楽しく練習しています。

大好きな空手



北海道支部常明館
小学5年生
藤原 樹

去年の糸洲の全国大会では形の種目で4回戦で負けてしまったので、次は優勝を目指して頑張りたいです。

私は幼稚園の年中さんから空手を始めました。

最初は形も組手もとても難しいかったけど、たくさん練習をしたら、初めて全国大会の組手で優勝することができて、とても嬉しかったです。

形も組手も大好きなので、たくさん練習してもっともつとじょうずになりたいです。

目指すは 世界一の選手!



北海道支部常明館
小学3年生
北川流輝

ぼくは5歳から空手を始めました。自分からお母さんに空手をやりたいと言いました。

石江道場国見支部、私たちも頑張っています

石江道場国見支部

石江道場国見支部から嬉しいニュースが入りました。

少子高齢化で全国的にも空手道の会員減少の中、竹田はるみ、鶴殿小百合さん社会人二人が子供たちと元気に汗を流し頑張っています。

空手道の魅力は勝利・技術の向上だけでなく中高齢者の健康・体力づくり、仲間つくり効果があります。

社会人の方々、自分の健康ために頑張ります。

《鶴殿小百合(写真右)》
当時3歳の孫娘の引率で通い始めた石江道場。2時間の稽古を見ながら、子どもたちの輪の後ろの方でストレッチや型を、竹田さんとしていたら、石江先生が道着をプレゼントして下さいました！
今では孫たちと一緒にの輪になりストレッチや型を頑張っています。現在、孫娘は小学1年生、私は56歳になりました。
現在は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のために稽古ができませんが…、1日も早く稽古が再開できることを祈ります。

《竹田はるみ(写真左)》
石江道場の会員になって2年目に突入します。

最初は子ども二人の練習を見学していて、柔軟体操や、体幹トレーニングを一緒にしていました。

その後、3人目の子と一緒に入会して練習も参加するようになりました。今では会員も増えて、とても楽しく練習できてます。形を覚えるのに苦戦していますが、子どもたちに教えられるながら練習する日々。これからも、健康的に過ごせるように、怪我に気を付けて空手道を行けたらと思っています。

(九州地区会報委員 井出俊郎)



竹田はるみさん(左)、鶴殿小百合さん(右)

基本統一・レベルアップ 技術講習会

令和元年11月3日(日) 呉市警固屋体育館



青木光子さん親子



参加者たち

令和元年11月3日(日) 呉市警固屋体育館にて、指導者・一般を対象とした、基本統一・レベルアップ(初心に帰り、全員で基本を再確認)の技術講習会が開催され、各支部より15名の指導者・一般が参加しました。
色々と学び、自分自身を高めたいという思いで同道場の者と一緒に初参加させて頂きました。
始めに野島千佳館長より準備された資料に基づき、講義、指導のあり方・基本の大切を学びました。
次に実技。基本動作を再度指導して頂き、自分自身の動作を再確認することができました。
どのスポーツにおいても基本は大切。私は



手刀の練習

中学・高校と陸上部に所属、思い返すと基本の大切さを実感させられました。
今回の講習会で学んだことを活かし、稽古に励み、道場の子どもたちと成長していける

よう、一緒に頑張っていきたいです。
最後に、ご指導して頂いた先生方ありがとうございました。
(拳志館阿賀 青木光子)



四股突き練習

上脇三男館長、公認スポーツ指導者永年表彰受賞

令和元年12月7日(土) TKRガーデンシティ品川



門下生と記念写真

令和元年12月7日(土)、TKRガーデンシティ品川で長崎拳心館・上脇三男館長が日本スポーツ協会公認スポーツ永年表彰を受賞し、後日、長崎県で伝達式がありました。
上脇館長は南島原市空手道連盟副会長、島原半島空手道連盟理事として、空手道競技の普及・発展に寄与されてきました。
また、糸洲会九州大会にも永年貢献されています。
現在も糸洲会拳心館の館長として青少年の指導をされています。受賞を知り門下生一同で市内の飲食店でお祝いをしました。
上脇先生は「体力も落ちてきたが体の続く限り子供たちに空手道の魅力を伝えていきます」と力強い言葉で話されました。
(九州地区会報委員 井出俊郎)

亀山神社 奉納演武を終えて

令和2年1月19日(日) 亀山神社

令和2年1月19日に亀山神社にて糸洲会・拳志館の合同奉納演武が行われました。
今回、令和初の演武という事もあり身の引き締まる思いで臨みました。天気にも恵まれ、323人も会員と多くの父兄にパワーを頂き、精一杯演じることができたことを幸せに思います。

今さら感じて、子どもたちも演じる時に感じるであろう思いを知ることができ、これを今後の指導にも活かしていきたいと思えました。
この様なチャンスをごくださった先生方に感謝し、心新たに精進していきたいと思えます。
(久連石佳子)



久連石五段による奉納演武



八幡神社到着



集合写真(前半)



集合写真(後半)



師範らによる年始の挨拶

拳志館 組手技術講習会に参加して

令和元年12月1日(日) 広島県呉市

令和元年12月1日(日)、呉市空手道技術講習会に参加しました。
この日は、組手の講習で52名参加していましたが、その中には、いつも試合で会う選手もいて、1時間おきくらいに少し休憩しながら、始めは基本の突きや蹴りを丁寧にやりました。

講習会の先生は、分かりやすく説明してくれました。
先生が言っていたことは、普段から教えてもらっている道場の先生や、強化練習に参加した時に言われていたことと一緒にしたので、やっぱり基本は大切なんだなと思いました。
みんなが、5分休憩なのに時間を惜しんで、早目に練習し始めているところを見て、見習わないといけないことも学びました。
いつもの稽古と違って、他の道場生と練習出来たのが良かったです。
講習は3時間で、最初は長く思えたけど、一生懸命気合い(声)を出して練習していたら、あっという間に時間が過ぎました。
次の講習会があれば、今度はみんなを誘って、また参加したいです。
そして、誰よりもたくさん練習して、全国大会優勝を目指して頑張ります。
(拳志館昭和 小学3年 坂本滉武)



参加者全員による基本稽古



上段突きの解説・指導する橋本師範



3時間の長丁場を気合で乗り切る



講師の野島館長

荒道場、各支部でクリスマス会

令和元年12月 高森支部・南相馬支部・福島中央支部・本部

《高森支部》

宮城県仙台市の荒道場高森支部のクリスマス会は、令和元年12月19日にも練習している高森コミュニティセンターで行いました。当日は保護者の皆さんに準備して頂いたお菓子やビンゴゲーム、お菓子の入ったジャンボくす玉割りもあり、とても楽しいクリスマス会になりました。

（報告者 荒 司）

《南相馬支部》

令和元年12月14日にも練習している会場で少し早いクリスマス会が開催されました。毎年恒例のプレゼント交換、景品争奪じゃんけん大会が催されて終始盛り上がりつつあります。

これからも仲良く切磋琢磨し、鍛えよう。この身体をモットーに精進して参ります。

（報告者 南相馬支部長 中村博之）

《福島中央支部》

荒道場福島中央支部のクリスマス会は、令和元年12月21日（土）、基本稽古や追い突き、形の練習で汗を流した後に福島市の国体記念体育館で行いました。

サプライズでサンタクロースが登場し、たくさんのプレゼントを頂き、子どもたちはみんな大喜びでした。

準備をして頂きました指導者保護者のみなさん、ありがとうございました。

福島中央支部の練習は、毎週水曜日、土曜



高森支部



南相馬支部



福島中央支部

日の週2回行っています。近頃は指導者も充実しており、指導者、保護者の協力のおかげで選手のレベルアップが進んでいる支部です。

（報告者 荒 司）

《荒道場本部》

令和元年12月20日（金）、福島県新地町の荒道場本部でクリスマス会を行いました。

荒道場では、馬陵杯大会（相馬市）、野馬追の里大会（南相馬市）、鹿狼杯大会（新地町）の各大会を、各支部が力を合わせて毎年開催しております。

大会や講習会の他にも、竹の子掘りや海岸清掃、山形蔵王登山、栗拾い、梅挽きなど空手以外にも楽しい行事を行い、各支部の交流を大切にしている道場です。

（報告者 荒 司）



本部道場

荒道場、審判講習会、合同練習

令和2年1月19日（日） 福島県相馬市・荒道場

令和2年1月19日（日）、荒道場では、各支部の小・中学生が福島県相馬市に集い、合同練習と審判講習会を行いました。

今回は、午前9時より11時まで、糸洲流ヒュンアの型を柳澤由美師範にていねいに指導



集合写真



審判講習会



組手練習会

第59回関東（東海・東北・北海道含む）地区 江の島寒稽古

令和2年1月12日（日） 神奈川県藤沢市片瀬海岸江ノ島



坂上会長とスウェーデン支部長ご夫妻、関東（東海東北北海道）地区の師範、支部長の皆様



式典 宗家新年挨拶

令和2年1月12日、藤沢片瀬海岸にて寒稽古が行われました。

一般部、少年部合わせて約180名が参加しました。気温9度、快晴で例年より寒さも穏やかで爽やかな稽古日和でした。

坂上会長の年頭ご挨拶、師範の寒稽古の流れのご説明の後、旅館から江の島海岸まで素足で移動。観光客の方々から「頑張っ〜！」と声援を頂き、少年部は気合充分です。

海岸清掃から始まり、準備体操、砂浜ランニング、一般部と少年部に分かれて基本稽古、形稽古などを行いました。

帯引きと騎馬戦も行いました。大人も子どもも、笑い声あふれる白熱したゲームでした。少年部の騎馬戦では、一騎生き残り戦も有り、優勝者には、稽古後旅館で利用できる「お風呂&足洗い場優先パスポート」を贈呈。皆が羨むパスポートを勝ち取り、とても嬉しそうでした。

そして、一般部と少年部の一部は海に向かって移動稽古です。首まで浸かりながらも大きな掛け声で追い突きをしていました。最後に円陣を組んで三本締めで稽古は終了しました。

各支部集合写真を撮り、旅館でゆっくりお風呂と昼食を楽しみながら、親睦を深めることができました。初めての参加者も沢山いましたが、「とても楽しかった！ 冬の海に入るなんて初めて！」との声が多く、貴重な経験になったと思います。

毎年企画してくださっている坂上会長、師範、支部長の皆様に感謝いたします。

（横須賀支部 長瀬 裕季子）

石江道場『卒部式』

令和2年3月 石江道場愛野支部

令和元年度、中学校過程を卒業した道場生鈴木来夢選手・萩夏樹選手へ、石江昌史道場長の直筆「記念額」と「道場オリジナルバスタオル」が贈呈されました。

幼少期より二人仲良く一生懸命に継続してきました。二人のいるところ常に笑顔ありで、

（九州地区会報委員 井出俊郎）

周りを明るくしてくれました。高校生活でも武道の魂を活かし、立派な人間目指して精進してほしいと思います。これからも未永く応援し続けます。おめでとうございました。



寒稽古記念写真



平安二段の演武

鴨池スポ少 雄大な桜島をバックに寒稽古

令和2年1月13日（月・祝） マリンポート鹿児島

令和2年1月13日（成人の日）、マリンポート鹿児島で行われた鹿児島市空手道連盟主催の寒稽古（参加者200名）に、鴨池空手道スポーツ少年団22名が参加しました。

雄大な桜島をバックに錦江湾の浜風を全身に受けランニング、基本練習を行いました。模範演武では力強い平安二段を演じ見学の保護者を感じさせました。

2020年は「燃ゆる感動がこしま国体」の記念すべき年。今年一年の目標を団員一同決意しました。

（九州地区会報委員 井出俊郎）



海中移動稽古



騎馬戦優勝チーム



円陣 三本締め



砂浜での型稽古



鈴木来夢選手



萩夏樹選手

令和2年1月12日(日) 大阪・門真市民プラザ



参加者による集合写真

令和2年1月12日(日) まだまだ寒い日が続く中、門真市民プラザ(大阪府)にて毎年恒例の初稽古を行いました。土川師範をはじめ各道場より多くの練習生が集まり、約2時間の稽古をしました。準備体操に始まり、基本、移動、型、組手と稽古し時間はあっという間に過ぎ、汗でビしょリになっていました。慣れない雰囲気の中、保育園生は先輩たちに混じって大きな声を出して頑張っていました(各師範も目じりが下がっていました)。最後に各師範、指導員から今年の抱負を言い、みんなで記念撮影をして今年の初稽古はケガも無く終了しました。年の初めにするから「初稽古」、毎年1度しかない「初稽古」、大事な行事「初稽古」、これからも大事な行事が続くよう頑張らねばと思われました。

(体誠塾本部 美代取泰成)



組手の練習



整列



形の練習

道草

その十一 論理的思考

〈論理的思考〉の活動

多くの考え方や情報から何が重要かを主眼的に判断し、自ら問いを立てて、観察、分析、実験、研究などによって、自然や人間が持つ本質を人間の言語で理解し、新たな価値を生み出して行く活動。

① 哲学的な問い

暗い夜道でナイフを持った男に「金を出せ」と脅された。命が惜しいのでバックから財布を取り出して男に金を渡した。この行動は、自らの意思で金を渡したので「能動態」なのか。それとも脅されて金を渡したから「受動態」なのか。

しかし、バックから財布を取り出す行動は強制されていない。それでは自発的な「能動態」なのか。学者は、恐喝されて金を渡す行動は、本人の自発的な意思や能力の表現ではないので「中動態」という言語を提示する。

それでは、鍛えた護身術で自発的に男を撃退すると「なに態」になるのだろうか。もしかすると「変態」……。

② 成熟社会

努力する姿は一見、積極的な「能動態」に見える。しかし、成熟社会の今日、教育も社会も全てがシステム化され「答え」の用意された「中動態」になった。スポーツも頑張り「ご褒美」と「餌付

け」のポイント制となり、買物や支払にもポイント制の時代になった。私たちは無意識の内に「中動態」の社会に支配されている。これが無気力で不透明な成熟社会の現実である。

③ 文武

「競技空手」(組手)の得点は攻撃技だけである。受け技は得点にならない。一方、「約束組手」は相手の攻撃に対応する転位と受けから始まる。そして反撃技から残心(安全の確認)によって完結する。

受けから反撃への「心技一如」、そして「道義的勇氣」。この自発的な能力開発が「文武」ではないだろうか。

④ 本質

遊びがスポーツに発展し、殺し合いの術が武道に発展した。しかし、いつの間にかその本質は「中動態」の社会に埋没してしまっ

た。「本質を失った活動がいかにしろいか、誰もがうすうす感じていた。それが新型コロナウィルスによって現実になった。

しかし、未来には「危機」も存在するが「希望」も存在する。本質の「育て方」と「育ち方」、その「論理的思考」が未来への「道」になるのでは……。

審議員 林 開作

追悼 宮川清則先生

訃報



糸洲会事務局長 柏木吉治

りその運営に貢献され、日本空手道連合会においても数々の役員を歴任され、空手道界の発展に尽力されました。

宮川先生とは、私が平成4年に吹田市において体誠塾江坂支部を開設して以来、吹田市空手道連盟に加盟させていただいたり、さまざまな面でご指導をいただいたりして大変お世話になってまいりました。

宮川先生が糸洲会理事長に就任された際に私も事務局長の任に就かせていただき、宮川先生が事務局長されていた際に蓄積された、たくさん資料をいただいたりして、糸洲会のことを多く教えていただきました。

また1期目で、まだまだ教えていただいたことがたくさんありました。それもかなわなくなり本当に残念な気持ちでいっぱいです。昨年11月に電話でお話をさせていただいたのが、最後となってしまいました。

今後は宮川先生のご遺志を引き継ぎ、糸洲会の発展の為に努力してまいりたいと思えます。宮川先生のご恩に心より感謝申し上げます。

昇段審査合格者一覽

(令和2年1月1日〜4月20日まで)

●少年部

【初段】 本多秀太、近内俊介、新開希咲、松浦蒼依、吉田昊太

●一般

【初段】 木村涼、後藤雅
【二段】 三瓶松太郎
【五段】 志賀宏起

編集後記



「緊急事態宣言」、「ロックダウン」、「スポーツ文化を守る段階は超えてしまった」など、インパクトのある言葉が、新型コロナウィルス拡大によって次々と飛び込んできた。

「災問」という言葉も耳にするようになった。日本列島は毎年多くかで災害が発生している。我々は常に災害と災害の間にあるという意味である。

実際、私たち糸洲会の「全国大会」も災害によって、「中止」と「開催」の繰り返しが続いている。感染症も複合災害の一つとして位置づけなければならなくなった。

この突然の変化、個人も団体も社会も課題が山積みになった。世界的にも同様の混乱が生じている。

身近な問題としては、既に働き方や学び方に大きな変革が生じている。過去の価値観や体制を守るだけでなく、人類の大きな選択の時と考え、この現実を前向きに捉えなければならぬ。

会報「薫風号」発行の中止も考えました。一方「この状況だからこそ発行を」の声もあり真剣に検討しました。結果、「糸洲会を支えるすべての人に感謝し」、「皆さんと共に正しい未来をたぐり寄せなければならぬ」。一歩一歩、そして一歩……。皆さんからの「原稿」と「メッセージ」を心よりお願い申し上げます。

《会報委員長 林 開作》

お知らせ

2020年「紅葉号」締切日は2020年8月25日です。原稿の投稿については、所属長を通じて下記の地区担当の会報委員にお知らせください。北海道地区/栗城憲康 東北地区/中村博之 関東地区/名古屋尚也・大貫光伸 関西地区/綿野光・飯森恵 中国地区/鈴木隆徳・羽部千敏 四国地区/林開作 九州地区/井出俊郎

東京堂インターナショナル http://www.tokyodo-in.co.jp

『空手道型大鑑』 坂上隆祥 著 287ページ A4版 上製函入 ¥12,000 (税込)

東京堂インターナショナルの空手衣はまだ進化し続けます！ 遂に待望の2大新商品 新登場！！

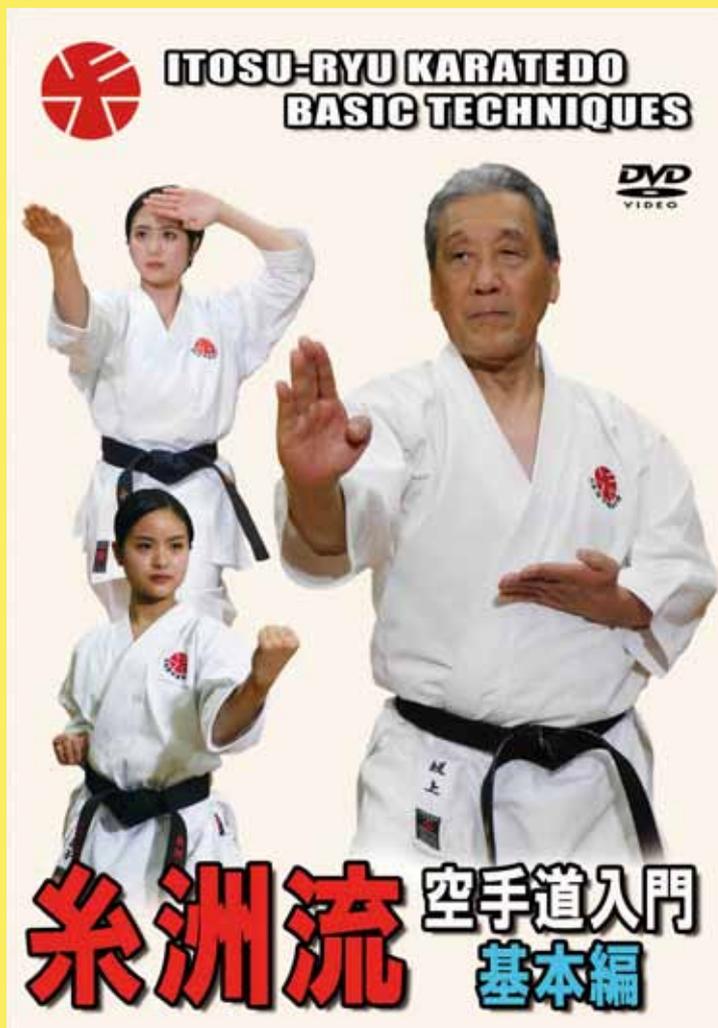
- ◆アスリート3 ◆ヒーロー2
- ◆(AT-3型用) ◆(HR-2組手用)

東京本社 0120-35-2997 鹿児島県鹿児島市新照院町1-19 TEL:099-255-8471 FAX:099-255-1547 九州支社 0120-219-170 福岡支社 TEL:093-3866-2997 FAX:093-3864-9645 info@tokyodo-in.co.jp

英語・スペイン語字幕付き
収録時間／65分
企画・監修／坂上節明
制作・構成・編集／小田歩
定価／7,000円

【収録内容】

糸洲流の歴史
座礼
拳の握り方
立ち方
用意～直れ
部位の名称
攻撃法
防御法
受けの五原則
移動式
四方体さばき
肘当て五法・手刀打ち三法
基本型1～10
約束組手1～10
鍛錬組手
巻き藁突き



DVD「糸洲流空手道型大鑑」

シリーズ全5巻 英語字幕付き

監修・指導／坂上節明 企画・協力／日本空手道糸洲会総本部 カラー・120分
定価各巻／5,880円（税込） 会員価格／5,200円 制作／株式会社クエスト



「糸洲流空手道型大鑑」
DVD-BOX
5巻組・カラー550分
豪華ボックス仕様
5巻セット
会員特別価格 23,000円

会員必需品！ お求めは各道場責任者にお問合せください

発売／糸洲会総本部 〒230-0048 横浜市鶴見区本町通1-16-5
TEL：045-521-6318 FAX：045-503-2040